

## 別紙標準様式（第7条関係）

## 会議録

|                      |  |
|----------------------|--|
| 会議の名称                | 平成22年度 第3回枚方市環境審議会環境基本計画改定部会                                 |
| 開催日時                 | 平成22年10月 1日(金) 10時00分から<br>12時00分まで                          |
| 開催場所                 | 枚方市市民会館 第2集会室  |
| 出席者                  | 部会長：三輪委員、副部会長：下野委員<br>稲森委員、今田委員、田中隆夫委員、田中みさ子委員、野田委員、<br>丸井委員 |
| 欠席者                  | 増田委員   |
| 案件名                  | 1. 部会報告案について<br>2. その他                                       |
| 提出された資料等の名称          | 資料1 枚方市環境基本計画の見直しに係る基本的な考え方について（部会報告イメージ）                    |
| 決定事項                 | 計画の基本的な考え方に関する部会報告イメージについて審議した。                              |
| 会議の公開、非公開の別及び非公開の理由  | 公開   |
| 会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由 | 公表   |
| 傍聴者の数                | なし   |
| 所管部署<br>(事務局)        | 環境保全部 環境総務課  |

## 審 議 内 容

### 1 開 会

三輪部会長： おはようございます。それでは定刻になりましたので、平成22年度第3回環境基本計画改定部会を開催します。それでは事務局に本日の部会の出席状況をご報告いただきます。

事務局： 本日の出席委員は、委員定数9名のうち、8名の委員の出席をいただいていますので、枚方市環境審議会規則第4条第2項に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。

### 2. 議 題

三輪部会長： それでは本日の案件の部会報告案について、まず事務局からご説明をお願いいたします。

事務局： 「部会報告イメージ」（資料1）について説明

三輪部会長： ありがとうございます。今回、部会報告のイメージということで資料を提示していただきましたが、今後第4回、第5回の部会というのはどういふふうに審議をイメージされていますか。また今日はどこまで話し合うのかを事務局から説明をお願いします。

事務局： 本日いただいた意見について、第4回の中ではそれを盛り込んだ形で部会報告の素案という形で示したいと考えています。そして、第5回で部会報告案をお示しする予定です。

三輪部会長： 5ページまでの間でのご意見をお願いします。

今田委員： 前回の部会で示された資料3の施策の体系が分かりやすかったと思います。その中で「〇〇都市枚方」とあったが、例えば「スマート コミュニティシティ枚方」のようなものが出てくるのですか。

事務局： 資料1の3ページにお示ししています4項目を踏まえて基本計画のテーマを決めていきたいと考えています。

今田委員： テーマがあったほうが一般の人が見て分かりやすいかなと思います。

事務局： 新たな基本計画のテーマは前回の部会でお示ししたとおり「〇〇のまち枚方」という形で設定していきたいと考えています。基本目標が4つあるので、それが全て共通するような枚方の環境像を設定していく考えです。

三輪部会長： この場で「スマートシティ枚方」のように特定の言葉の出し方までしていくかどうかは分かりませんが、少なくとも何らかの環境像は設定して欲しいということが部会の意見ではないかと思います。

今田委員： 委員の役割がどの辺まであるのか分かりませんが、こういうものがあって欲しい、欠けているといった部会の意見として言ったらいいと思います。

三輪部会長： 環境基本条例の「環境を思いやるまち枚方」という用語ができたのはい

つですか。

事務局： 平成10年です。

三輪部会長： 10年の間に北極も氷が溶けましたし、だいぶ変わってきています。方向性が一致しているということは、今にふさわしいものが必要ですね。他にいかがでしょうか。

丸井委員： 「中長期的な共通目標となる枚方市のめざすべき環境像を設定する」と書かれていますので、めざすべき環境像というのが言葉になったら、どんな言葉がフィットするのかなと思います。

今田委員： 方針というのは、始めにトップの人が出されたものに対して意見を言うので、このトップの人が出しやすいことを諮問してあげるのがこの部会だと思います。

三輪部会長： 例えば、こういうのはどうだろうかというのを示したらどうかということでしょうか。第4回と第5回と部会が2回ありますから、例としてこういうものが部会から意見があったということで、案を提示することも可能だと思います。他にはいかがでしょうか。

田中みさ子委員： 2ページの「2. 見直しにあたっての基本的な視点」の「(3) 体系の見直し」で、体系を見直すだけではなく、10年間の反省なども加えるといいのではないのでしょうか。上手くいかなかったものをどうすればいいのかということを中心に重視しなければいけないので、それがはっきり分かるように視点として入れておいた方がいいのではないのでしょうか。

三輪部会長： それは例えば(3)の中に追加するのか、(4)を設けて明確に示すこともできますが、いかがでしょうか。

田中みさ子委員： 違う方向でやらなければいけないものがたくさんあれば、もう1つ項目を増やしてはいかがでしょうか。

三輪部会長： これまでの施策の成果を踏まえて見直しを行っていくということで、もう1つ項目を追加していただきたいと思います。

今田委員： やることによる利益と、やらなかったことによる損失などを踏まえるのも大切なことではないかと思います。

事務局： 日常生活の中で何も対策をとらなかった場合には、これだけのCO2が増加しますが、ライフスタイルを見直すことによってこれだけ削減できますといった効果でしたら具体的に表すことはできると思います。

今田委員： 1点1点を見ていけばそういった具体的なことが出てきますが、やはり全体に対してだと難しくなるのでしょうか。

事務局： 基本計画全体を捉えたものを具体的に反映していくのは難しいかと思います。

三輪部会長： 部会報告は、環境審議会に提出することになりますので、体裁や審議会の各委員が読んで分かりやすいということも必要なので、「2. 見直しにあたっての基本的な視点」の中に今田委員のお話をに入れていくというの

は少し難しい感じを受けますが、みなさんどうでしょうか。

丸井委員： 23ページから26ページの間に、盛り込んでいくのは可能かと思えます。

三輪部会長： 他の部分で盛り込んでいくことも一つの方法だということですね。今田委員が言われたように、このまま枚方市が開発の波であらわれていくと、やがてつまらないまちになるのだろうか、潤いのないまちになるだろうなと見えるような気がします。環境の基本計画はそのへんをコントロールできる力があるので、感覚的な表現ですが、丸井さんが言っていたような方向で考えていくこともありかと思えます。

稲森委員： 基本目標の中の地球環境が自然、生活、都市環境と同じように位置付けられています。地球環境のことが4番目におかれているのはどうかと思います。やはり地球環境は全て切り離しては考えられないことなので、もう少し基本目標の同じ並びの中ではなくて、もう1つ大きい括りの中に地球環境を捉えた方がいいのではないかと思います。

三輪部会長： 行政側が施策を分類するのに、この形が一番分かりやすいということで4項目を設けているかと思うのですが、他の委員の皆さんはいかがでしょう。

丸井委員： 基本計画の改定後に具体的な実施計画を作成していくことを考えると、こういう体系にしないとなかなか難しいのではないかと思います。この4つは決して切り離してあるものではなく、施策を進めていく上でそれぞれの分野で進んでいきますといったことをいいたいと思いますので、大きな意味での地球環境につながっていくことをどこかで明記することによりカバーできないのかなと思います。

事務局： 地球環境は決して4番目に大事な分野という意味ではなく、環境基本条例や現基本計画の並びに沿った順でお示しているだけです。

稲森委員： 全部大切なのですが、地球環境というと、もう1つ上の括りになるのではないかと思いますので、その方向付けがどこかで表現できないのかなということです。

田中みさ子委員： 3ページの「3. 新たな基本計画のテーマ」の中に地球環境のことを記述してもいいのではないのでしょうか。

今田委員： 基本施策の中身で、いきなり「廃棄物」や「健全な水」といった文言が入っていることに違和感を感じます。「健全な水」という書き方も分かりにくいです。

三輪部会長： 5ページの基本施策についてご発言いただいたのですが、文言も含めて、これが全体にふさわしいかどうか、事務局はご考慮をお願いします。

私の意見ですが、基本目標、基本施策の一番上にそれぞれ1文が書かれています。これにもう少し部会としての想いが入ってもいいのではないのでしょうか。

田中隆夫委員： 基本施策の中で、「良好な生活環境の確保」の中で、いきなり昔の公害

問題などを表記したときに、行政の規制が最初で出てくるような感覚を受けますので、もう少し柔らかい表現にした方がいいのではないかと思います。

三輪部会長： 確かにそうですね。環境問題はどんどん移り変わっていますので、それ自身が時代とそぐわなくなっているのかもしれないですね。基本目標の1から4の順を入れ替えるということはどうでしょうか。誰でも最初にあるものが一番大切だと思ってしまいますから。

野田委員： 理念などを考えるときに、あまりにも漠然とした、抽象的過ぎる表現が多いと感じます。もう少し枚方ならではの顔が見える書き方にしたいと思います。4つの基本目標がバラバラではなく、どうかみ合っただけという効果が出て、こんないいまちになっていく、というシナリオが見えるようなものが基本目標のところに見えていて欲しいです。それを見た時に市民の人もイメージがしやすいものが見えれば、市内の優れた自然といったときに、例えば生駒山地、淀川など大きな骨格になるような自然の名称が出てきてもいいのかなと思います。

三輪部会長： 枚方市でこういう分類分けをされますと、どこにいても特徴が表れてこないということが実際起こっています。でも枚方は非常にユニークで、世界のどこにも枚方以上の都市はないので、そういうところを強調した枚方ならではの現状をよく抑えているということと、それからもっていきたい方向も枚方だからこういう方向に持っていきたい、そういうことも表れていないと困る、という解釈でよろしいですか。それをこの部会では基本目標で、そういうところを表してほしいといったご意見でしょうか。非常に大事な点ですが、表現上はどういうふうにもっていったらいいか。

野田委員： 大きな都市になればなるほどすごく難しいです。地方の村だとかごみ問題などの骨格になる施策があります。それが循環型社会の一つのモデルになって、コンパクトな地産地消みたいなものができて、大阪や世界につながっているという、結構見えやすくなっていると思うのです。逆に、枚方くらいの規模になるとそれが見せにくいところがあります。でも、それが見えてこないと実際10年経ったときに、成果を市民が実感しにくいと思います。

三輪部会長： 野田委員のご意見に対して他の委員の皆様はいかがでしょう。

田中みさ子委員： これを見ていて、どこが特にやらなければいけないのかが分かりにくいのです。野田委員のご意見は正しいと思いますが、それを短い言葉で表すのは難しいとも思います。基本施策がもう少し長い言葉でもいいのかなという気がします。施策の方向などもう少し具体的な項目について審議して、もう一度この基本施策の並びを振り返る方がいいのではないのでしょうか。

今田委員： 基本施策の「地球環境」のご意見について、私も市民優先に考えた方がいいと思います。地球環境を見た時に、8、9、10というのは無理があ

る気がします。基本施策1で、「良好な生活環境の確保」の中に施策の方向として5つの項目を書かれていますが、最後の地球環境のところを見るとバランスが悪く感じます。施策に書くとすれば、「基本施策8」の「廃棄物対策の推進」のところで、「資源の有効利用」というのはもっと上位にくるもので、「廃棄物対策」というのはその一部ではないかという気がします。また、「基本施策10」の「地球温暖化対策の推進」というのは地球環境に匹敵するような大きな項目に対して、その下にある省エネ、新エネルギー、ヒートアイランドとのウェイトのバランスがとれていないような気がします。

野田委員： 地球環境という広域的な視点から書くのか、自分の取り組んでいく身近な視点から書いていくのか、どちらかに統一した方が分かりやすいと思います。

三輪部会長： 「2. 見直しにあたっての基本的な視点」で、(4)にこれまでの取り組みの反省、だからこういう点に重点をおいていかなければという田中委員のご意見を入れるということでしたが、野田委員のおっしゃった地域の特徴が出てくるような体系づくりというのを(5)に入れてはいかがでしょうか。

野田委員： 地域の特性や課題をもう一度認識し直すということですね。

三輪部会長： それを(5)に入れるなり、部会としてはそれを重視してくださいということですが。次に今田委員のご意見でありました基本施策についてはいかがでしょうか。

今田委員： 基本施策の地球環境や、施策の方向などを見ても、地球環境に沿った資源の有効活用について書かれているような感じがします。それなら、それに合ったような書き方をしていけば整理できるのではないかと思います。

田中みさ子委員：「地球環境」の部分ですが、全体的には循環型社会をつくるという話だと思うので、「地球環境」というのを「社会環境」に変えて、大きなテーマとしては地球環境に配慮するという形にしてはいかがでしょうか。

下野副部会長： 確かに基本目標の「地球環境」を「社会環境」することで、「地球環境」を大きな括りで捉えることができるので、いいのではないのでしょうか。

野田委員： 基本目標の2番目と3番目のところで、基本目標に「自然とが共生するまち」があり、基本施策に「自然との共生」があります。また、3番目でも「環境に配慮したまち」というような表現があり、あまりブレイクダウンできていない文言になっています。もう少し具体的な視点として取り出した方がいいのではないのでしょうか。

三輪部会長： 基本施策をめぐっては、いくつかポイントが出てきています。一つは生活環境項目に関することは、ここでいいのかという点。また、地球環境ということのタイトルと中身の不一致さ、上位の基本目標でいくつか入っている文言が基本施策でもう一度使われていて、具体性に欠けているので

はないか、という点もございました。それから枚方らしいということから見ると、基本施策の優劣、強調がそれでいいのかという点。もう1つ地球環境という文言自身を考え直してみるべきではないかというご提案もございました。皆さんがピンとこないと思われるのは、きっと普通であればこの後の各施策に優先順位をつけ、どこを強調していくべきかを話さないといけないのですが、今の仕組みですと基本施策の中を全て網羅していく形になっています。その辺のもどかしさをこの基本計画でどうまとめていくかが問題ですね。他にいかがでしょうか。

今田委員： 資料がどこにどう繋がっているのか分かりにくい。基本目標がなく基本施策だけであれば議論もスムーズにいくと思うのですが。

三輪部会長： 体系の全貌が把握しやすいような資料を提示していただきたいということですね。体系について他にいかがでしょうか。

丸井委員： こういう枚方市であってほしいなというイメージから言うと、この基本目標が達成できたら個人的には良いかなと思います。その次に、具体的にどんな施策をするのかといった時に、ここでどこまで文言として入れていくのか。基本的には、目標を達成させるための施策で、誰が読んでもこれだったら目標が達成できるということが分かり、それがずっと入ってくるような文言になっていればいいと思います。前と比べたら基本目標の文言については良くなっていると思います。

三輪部会長： 丸井委員が前半で述べてくださった、愛すべき枚方像みたいなものがどこかで入るべきなのでしょうね。そうでないと他都市と一緒になくなってしまいますよね。

野田委員： 総合計画に書かれているような枚方市の地形や特性を環境の視点で書いて欲しいと思います。そうすると、枚方市のイメージがよくわかると思います。

三輪部会長 今具体の提案をいただきましたが、1ページのところでは改定にいたった理由を書いているだけで、具体的に枚方のイメージをそこに書き込めるのではないか、それを最初の方に持ってきて方向がぶれないだろうということでしょうかね。私の提案として、最後に意見をつけたいなと思っています。ここで基本計画そのものをここで作っているわけではないので、委員さんの想いを書き込んだ意見みたいなものを部会報告に入れていきたいと思っています。他に施策の方向等でお気付きの点はありますか。

今田委員： この枠内で、前からずっと引き続き維持していくものがほとんどですか。新しく追加されたものはありますか。

事務局： 網掛けの枠内は、現環境基本計画の記載内容をそのまま載せています。

三輪部会長： これまで達成できたものと、新規に達成すべきものとに分けて、分かりやすく書いて下さい、ということ部会から提案することは可能かもしれませんが、ただ、今そのことを重点的に話し出すと時間が足りないので、で

きましたら、次回までにお気付きになった点、この会で言い足りなかったこと、網掛けの部分で抑えておくべき点などがありましたら、事務局にメールで文章を送っていただくとありがたいです。

稲森委員： 項目がたくさんあって、いただいた資料を全部読みこなして、私たちの目でこれを検証するというのは不可能だと思います。もう少しこれからの重点が何であるか、その方向性を見出すためにも、自己検証で良いので、評価的なことを資料があれば分かりやすいと思います。

事務局： 現在、庁内において担当課にこれまでの課題や今後の方向性について、照会しているところです。

三輪部会長： 22ページ以降についてご意見をいただきたいと思います。網掛けの部分は現環境基本計画の記載内容ですので、参考にしながらご意見をいただきたいと思います。この通りに載るということではありません。

丸井委員： 主体の参加と役割をそれぞれ分けて記載しておきながら、推進体制として別に位置付けているということに違和感があります。

三輪部会長： どのようにすれば良いと思いますか。

丸井委員： 7と8を分けていますが、一つにしてはいかがでしょうか。

三輪部会長： 例えば「すべての主体の参加と計画の推進」とし、(1)各主体の役割、(2)推進体制、のようにはどうかということですね。

丸井委員： それぞれの主体が、主体的に関わって、推進していくものだと認識を持っていますので、そこを上手く融合された形にして欲しいです。

三輪部会長： 全市民、全主体が責任を持っているのだという書き方にして欲しいということですね。他はいかがでしょう。

田中隆夫委員： 枚方市産業振興基本条例の中に、工場の操業環境を保全するという観点が入っているのですが、市民に対する配慮が全面的に出ている、行政の役割の中で事業者に対する配慮が欠けている気がします。工場に対する操業環境を確保するという内容を盛り込んで欲しいです。

三輪部会長： 環境が経済をリードしていくという視点もあって、今までのように事業者の方々が全ての環境を悪化させる主原因であるという、昔ながらの考え方は随分変わっています。その辺をこの中にどう反映するかは重要な課題でもあります。

田中みさ子委員： 事業者の環境に対する活動を支援する一環として、積極的表彰や評価をして、ずっと続けられ、モチベーションを保てるような仕組みをこの中に入れてはいかがでしょう。

野田委員： 行政、市民、事業者がどう連携するかという視点の記述が非常に薄いので、もう少し分かりやすい書き込みが必要ではないでしょうか。市民の中でも個人と団体は少し違うと思いますので。

今田委員： 重点プロジェクトをやるときに、施策として具体的なことを出すのか、市民主体としての教育、情報などを出すのか、どちらを主体にやるのかは



つきりさせないと基本計画全体の構成がつかみにくいと思います。

三輪部会長： ありがとうございます。時間が参りましたので、またメールで環境総務の方にお送りいただくか、次回までに考慮していただいて、更に良いものにしていきたいと思います。

今日の議論はこれで終了とさせていただきたいと思います。

それでは最後に「その他」について事務局、いかがでしょうか。

事務局： 事務連絡として、部会の日程調整をさせていただきたいと思います。(日程調整)

### 3 閉会

三輪部会長： それでは本日はどうもありがとうございました。本日はこれで閉会します。